

8. Windows の補足情報

コマンドの使用についての説明です。

Windows からのファイル直接印刷

Windows でコマンドを使用したファイル直接印刷の方法についての説明です。

★重要

- ・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ・この方法で印刷できるファイルは、本機が搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえば PostScript 3 用のポストスクリプトファイルなどです。
- ・搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

◆ Windows 98/Me

ftp を使って印刷できます。

◆ Windows 2000/XP、Windows Server 2003/2003 R2

lpr、rcp、ftp を使って印刷できます。

↓補足

- ・sftp コマンドをご使用の場合は、クライアントソフトが必要です。クライアントソフトは、ssh ver2 に準拠した物をご使用ください。

📖参照

- ・P.11 「お使いになる前に」

セットアップ

Windows からファイル直接印刷するための、環境設定の方法の説明です。

1 本機の操作部でTCP/IPプロトコルを有効にし、IPアドレスなどTCP/IPに関するネットワーク環境を設定します。

本機のTCP/IPプロトコルは、工場出荷時は有効に設定されています。

2 Windows にTCP/IPプロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

3 Windows 2000/XP、Windows Server 2003/2003 R2 でlprを使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX用印刷サービス」を組み込みます。

↓ 補足

- DHCP を使用して本機の IP アドレスを設定するときは、「DHCP を使用する」を参照してください。
- 本機の指定にホスト名を使用するときは、「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

目 参照

- P.292 「DHCP を使用する」
- P.254 「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IP アドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNS を使用している場合

DNS サーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

DHCP を使用してプリンターの IPv4 アドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。

目 参照

- P.141 「システム設定リストを印刷する」

その他の場合

印刷を行うコンピュータの hosts ファイルに、ネットワークプリンターの IP アドレスとホスト名を追加します。追加のしかたは OS により異なります。

■ Windows 98/Me の場合

- 1 ¥WINDOWS¥HOSTS.SAM を同じディレクトリにコピーし、名前を HOSTS (拡張子を付けません) にします。
- 2 作成した ¥WINDOWS¥HOSTS ファイルをメモ帳などで開きます。

3 hosts ファイルに IP アドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

```
192.168.15.16 host # NP
```

192.168.15.16 は IPv4 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

4 ファイルを上書き保存します。**■ Windows 2000/XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合****1** メモ帳などで hosts ファイルを開きます。

hosts ファイルは以下の場所にあります。

Win2000

```
¥WINNT¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
```

WinXP/2003

```
¥WINDOWS¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
```

2 hosts ファイルに IPv4 と IPv6 のアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

IPv4 の場合

```
192.168.15.16 host # NP
```

192.168.15.16 は IPv4 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

IPv6 の場合

```
2001:DB::100 host # NP
```

2001:DB::100 は IPv6 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

3 ファイルを上書き保存します。

↓ 補足

- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2 でホスト名をご使用の場合は、外部の DNS サーバでホスト名の解決を行ってください。hosts ファイルはご使用になれません。
- IPv6 対応の OS は、Windows XP SP2 と Windows Server 2003/2003 R2 です。

印刷方法

lpr、rcp、ftp を使った印刷方法の説明です。

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。各 Windows でのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

◆ Windows 98 の場合：

[スタート] - [プログラム] - [MS-DOS プロンプト]

◆ Windows Me の場合：

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [MS-DOS プロンプト]

◆ Windows 2000 の場合：

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]

◆ Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合：

[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]

↓ 補足

- ・印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ・「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
 - ・ lpr : 10
 - ・ rcp : 5
 - ・ ftp : 3
- ・ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。
- ・コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容は UNIX から印刷する場合と同様です。
- ・エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

☰ 参照

- ・ P271 「セットアップ (UNIX)」

lpr

◆ IP アドレスを使ってプリンターを指定する場合

```
c:> lpr -S プリンターの IP アドレス [-P オプション] [-o1] ¥パス名¥ファイル名
```

◆ IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合

```
c:> lpr -S プリンターのホスト名 [-P オプション] [-o1] ¥パス名¥ファイル名
```

バイナリーファイルを印刷する場合は -o1 (小文字の O と、小文字の L) オプションを付けてください。

ホスト名が host のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 の PostScript ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Shost -Pfiletype=RPS -o1 C:¥PRINT¥file1
```

rcp

あらかじめ hosts ファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。

```
c:> rcp [-b] ¥パス名¥ファイル名 [¥パス名¥ファイル名...] プリンターのホスト名: [オプション]
```

- ・ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ・バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。

ホスト名が host のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 と file2 の PostScript ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp -b C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2 host:filetype=RPS
```

↓ 補足

- ・hosts ファイルに本機のホスト名を登録する方法については、「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

E 参照

- ・P254 「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」

ftp

印刷するファイル数に応じて put または mput コマンドを使います。

◆ 印刷するファイルが 1 つの場合

```
ftp> put ¥パス名¥ファイル名 [オプション]
```

◆ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput ¥パス名¥ファイル名 [¥パス名¥ファイル名 ...]
```

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 本機の IP アドレス (または hosts ファイルに設定したプリンターのホスト名) を引数にして ftp コマンドを起動します。

```
% ftp 本機のアドレス
```

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

```
User:
```

```
Password:
```

ユーザー名とパスワードは管理者にお問い合わせください。

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

4 印刷するファイルを指定します。

以下は C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前の PostScript ファイルを印刷する例と、file1 と file2 を印刷する例です。

```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=RPS
```

```
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2
```

5 ftp を終了します。

```
ftp> bye
```

↓ 補足

- ・ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- ・mput コマンドではオプションを指定できません。
- ・pwd コマンドではオプションを指定できません。
- ・mput コマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ・バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

- C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前のファイルを RPD L で印刷する例
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=R00
- C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 と file2 という名前のファイルを印刷する例
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 file2